

金属の防錆処理には防錆油、気化性防錆油、防錆紙、防錆塗料などさまざまな方法があります。

防錆処理は防錆期間の違いにより、長期防錆と中間防錆に分けられます。中間防錆は一時的な防錆であるため、次の工程において防錆皮膜が邪魔になる場合洗浄して取り除く必要があります。

水溶性防錆剤は、一時的な防錆効果しかありませんが、次工程前の洗浄が容易で、また工程によっては洗浄がいらない場合もあります。

防錆剤A-100は水溶性防錆剤として最高レベルの防錆効果を有しています。また、浸漬状態では長期間の防錆が可能です。



## 使いかた

■ 単独浸漬使用 : 1～3%

浸漬後引き上げる場合、濃度をやや高めの設定してください。環境により防錆期間は大きく変動します。

■ 添加(水溶性切削油剤などへ)使用 : 0.5～2%

※目的、対象などそれぞれに条件が異なりますので、濃度の設定は事前に試験をしてください。

## 原液性状

■ 外観：微黄色透明液体 ■ 比重：1.05 ■ PH:8.6(2%)

## 荷 姿

■ 20L ペール缶

■ 取扱上の注意は容器表示を参照してください。

販売代理店



株式会社ケミック

大 阪 594-1144 大阪府和泉市テクノステージ 1-2-1 tel:0725-51-0031  
東 京 215-0004 川崎市麻生区万福寺 1-1-1 tel:044-951-1318  
名古屋 460-0002 名古屋市中区丸の内 2-18-22 tel:052-203-1571